



# 西予市

DATA	【人口】	35,232人 (R4.12.31現在)
	【面積】	514平方キロメートル
	【職員数】	835人 (R4.4.1現在)

## 地方の役所が取り組んだ昭和な働き方からの脱却

### <発表概要or今年の実施の特徴>

生産性向上と昭和な働き方から脱却するため、平成27年からオフィス改革を開始。これまで働き方の改善につながる様々な取組を行ってきました。令和2年度から3年度にかけては、本庁舎のほぼ全フロアのレイアウト変更などを行いました。

令和4年度は、整備したオフィスを効果的に生かすため、オフィス改革コアチーム、自主研究グループ業務改善班において、働き方の改善などソフト事業の強化を図るべく活動を行っています。

### <改善運動の特色やアピールポイントなど>

レイアウト変更の他、無線LANの整備と全職員にノートパソコン配布し、会議にはノートパソコンを持参することを習慣化。その他にも、デュアルモニタの導入や、袖机を一部撤去などを行い、コミュニケーションの活性化やペーパーレス化を進めることで、意思決定のスピード向上や、仕事の質の向上につなげています。

また、この取り組みが注目され、全国各地からの視察や取材により市の知名度向上等のPRにもつながっています。

### <メッセージ・意気込み>

愛媛県西予市です。「さいよ」や「にしよ」ではなく「せいよ」です。  
ぜひこの機会に覚えてください。



西予市イメージキャラクター  
『せい坊』

(漫画家: 榎本学先生<西予市出身>制作)

部署名

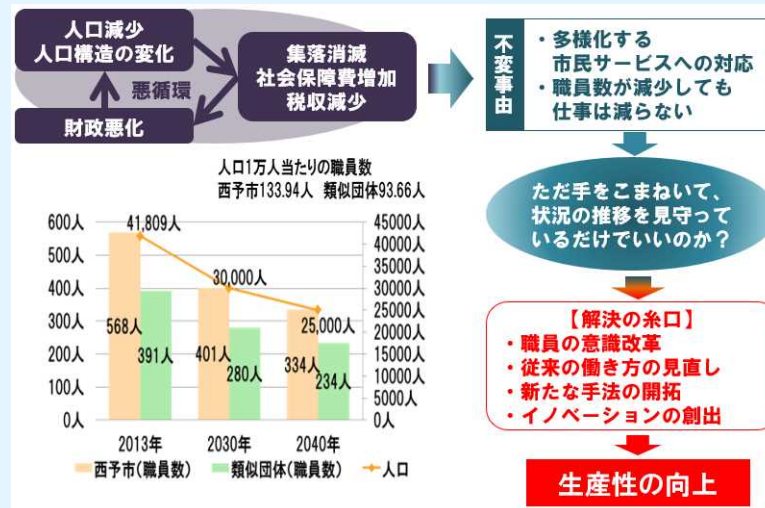
愛媛県西予市政策企画部政策推進課情報推進室

タイトル

# 地方の役所が取り組んだ 昭和な働き方からの脱却

- ・西予市は少子高齢化の自治体で、人口減少からなる財政悪化、そして職員数の減少がある。
- ・しかし、職員数が減っても多様化する市民サービスに対応するために生産性の向上が必要であった。

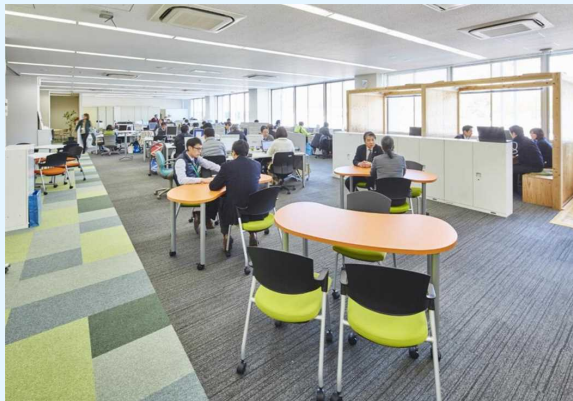
改善前  
【Before】



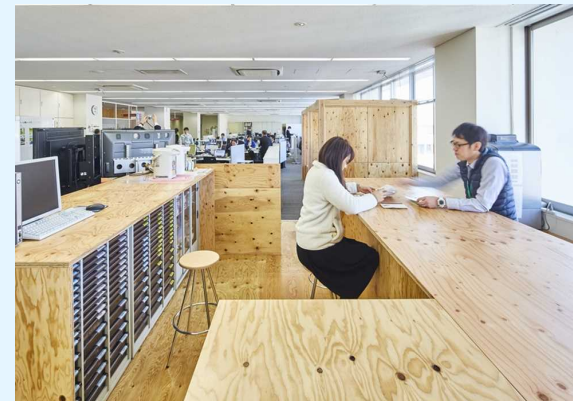
## 取組内容

オフィス改革を行い昭和な働き方から脱却を図り、生産性向上に繋げた

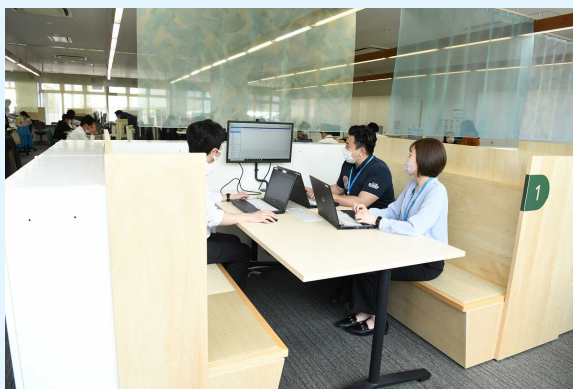
書類を減らしフリーの協議スペースへ



無線LANによりどこでも仕事ができる



モニタを常設しPCを持ってすぐに協議



子どもと一緒に相談できるスペース



## 取組内容

- 書類を整理、脇机書庫を撤去し、ミーティングスペースを捻出
  - ・空いたスペースをフリーの協議スペース
  - ・モニタを常設し、すぐに協議打ち合わせが可能
- 無線LANの整備と、全職員にノートパソコン配布
  - ・ノートパソコンにより、庁舎内のどこでも仕事できる
- フリーアドレス、ABW
  - ・一部のフロアからフリーアドレス導入、ABWへの取り組みを進める
- 電子決裁化
  - ・意思決定スピードの向上、ペーパーレス化推進
- 簡易決裁や回覧文書は、グループウェアの積極的活用
  - ・決裁業務簡素化、ペーパーレス化推進、情報共有の推進
- Web会議の導入
  - ・本庁支所、出先機関、外部とも個人のPCで自由にできる環境
- クラウドPBXの導入
  - ・どこにいても電話ができる環境を整備
- オフィス改革コアチームの取組
  - ・仕事へのモチベーションの取り方、創造的な働き方の検証
- 自主研究グループ業務改善班の取組
  - ・働き方アンケート調査（若手、中堅職員対象）と若手職員向けマニュアル等の作成

昭和な働き方からの脱却を図る取り組みを行った。

## 効果 【After】

(改善の成果  
・取組の効果)

### ○コミュニケーション調査

- ・会話の回数 2.2倍
- ・上司部下のコミュニケーション量 最大7.2倍
- ・コミュニケーションから価値のある情報を得る機会が増えた7割

### ○業務効率化

- ・予約が必要な会議室の利用頻度 週1回未満

### ○ペーパーレス

- ・複合機印刷枚数 年間65万枚削減

### ○情報共有ツール（グループウェア）

- ・ワークフロー申請件数 2年間で1.7倍
- ・スケジュールへの会議資料添付率 3年間で6倍

### ○移動時間の削減

- ・Web会議システムにより移動時間の削減、燃料費の削減

### ○市の魅力向上

- ・視察（111団体602人）、取材により西予市の「知名度向上」、「魅力の発信」につながった

部署や職位を超えた会話が増え、会話の質も上がり、どこでもすぐに協議・打ち合わせが可能になったことで、「意思決定のスピードの向上、質の向上」が図られた。